

開講専攻	授業科目	担当教員	必修 選択 の別	単位数
看護学 6, 7 セメスタ -	成人急性期看護学実習	根本 良子 柏倉 栄子 菊地 史子 伊藤美由紀	必修	4
授業題目		手術療法及び集中治療を受ける成人期にある患者・家族への看護実習		
授業科目の目的・概要及び到達目標等				
<p>概要：成人看護学原論，成人急性期看護方法論で学習した看護理論・援助方法を臨地実習場面において体験し，急性期看護の実践に必要な知識，技術，態度を統合的に取得する。</p> <p>目的：手術療法及び集中治療を受ける事によりストレス・危機状況にある成人患者・家族に対し，看護師と患者の人間関係を基盤に，問題解決の系統的アプローチと看護理論を適用して，成長・発達・適応の可能性を最大限に引き出す看護を実践する能力を養う。</p> <p>目標：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 集中治療を受ける事によりストレス・危機状況にある成人患者・家族を多面的に理解し，看護過程の展開をとおして，成長・発達・適応へ向けての援助が出来る。 2. 手術を受けることによりストレス・危機状況にある成人患者・家族を多面的に理解し，周手術期の看護過程の展開をとおして，外科的な手術侵襲に伴う変化への対応，心身の回復や社会生活への適応がはかれるように看護援助ができる。 				
授業計画				
<p>実習スケジュールは，学内における実習前学習，大学病院見学実習，大学病院病棟実習と振り返り学習の計4週間で構成する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学内実習：急性期患者の看護過程の展開に基づき，急性期患者援助に必要な日常生活・診療介助援助技術についてグループワーク演習，全体発表，ビデオ学習，文献学習をとおして学ぶ。 2. 見学実習：病棟実習を効果的なものにする為に，実習関連施設として，大学病院集中治療部，手術部で患者の治療・看護の療養場面に立ち会う見学実習を行う。 3. 病棟実習：学生1～2名で手術を受ける患者1名を受け持ち，看護過程を展開し，受け持ち患者の看護について学ぶ。受け持ち患者が手術部，集中治療部に入室する場合は，学生も患者につき看護を実施する。受け持ち患者の看護の方向性を把握し，適切な看護援助を提供し，実施した看護評価のためにカンファレンスを実施する。 4. 振り返り学習：受け持ち患者に実施した看護援助のプロセスを振り返り，理論的にまとめ発表し，学生間で共有し，成人急性期看護援助について考えを深め，応用する能力を養う。 				
成績評価の方法及び基準				
出席状況，参加態度，課題レポートを総合的に判断して行う。				
教科書・参考書				
<p>教科書：1. 系統看護学講座専門5，「成人看護学総論」，小松浩子ほか著，医学書院 2. 成人看護学慢性期看護論，鈴木志津枝他，ヌーヴェルヒロカワ 3. 成人看護学 E,がん患者の看護，氏家幸子監修，廣川書店 4. 系統看護学講座専門別巻1，「臨床外科看護総論」，青木照明他著，医学書院 5. 系統看護学講座専門別巻2，「臨床外科看護各論」，北島政樹他著，医学書院</p>				